

立春が過ぎ、暖かさが増して、春の訪れを感じる今日この頃です。

春は出会いの季節、今月から始まった「藍ちゃんの家ふあみりくらぶ・第三藍ちゃんの家」が素晴らしい出会いの場となりますように。



新しい家がスタートしました！

～ オープニングイベント ～

オープンに先駆け、2月25、26両

日記念のイベントを開催しました。

25日は天気にも恵まれ、利用者さんの見守る中、山本施設長の挨拶の後、少年、青年、壮年の各代表と利用者代表で最高齢（94歳）の安藝さんによるオリーブと月桂樹の記念植樹が行われました。



玄関横「じんちようげ」では、両日利用者さんの作品を展示、廊下には日常の様子をパネルにして飾り、来場者の目を楽しませました。デイルーム「さくら」では、「ひょうきんどんぶり」の楽しいステージ、翌26日は度会養護の福岡先生の「私の街のもうひとつの大家族」の講演や里中先生による「ミュージックケアを楽しもう」で賑わいました。2階の学童ルーム「ブルーベリー」ではゲーム大会が、中2階の「エリカ」では紙芝居や絵本の読み聞かせがあり、子ども達の歓声が終日響いていました。26日は相可高校「まごの店」お弁当の販売も好評で、春の嵐を思わせるような天気にもかかわらず、大勢の方にお越しいただきました。



お誕生日を迎える利用者さんの紹介

西田 ヒサエ 様 (3日)

春風に 足軽くなり 杖の音

牧戸 きみゑ 様 (23日)

藍ちゃんの家に 元気で来るのを

楽しみにしています。

高橋 サキ子 様 (25日)

藍ちゃんの家に来るのが楽しみです。

西田 弘子 様 (31日)

みななど、お話ができますように。



御頭神事 ～無病息災祈願～

2月11日、坂社の例祭

御頭神事がとり行われました。藍ちゃんの家の前でも獅子舞があり、皆さんで楽しみました。舞の後、獅子に頭を噛んでもらい一年の無病息災を祈願しました。



坂社では、甘酒のふるまいがあり「おいしいね」「あつたまるね」と焚き火にあたり、頬をピンク色に染めていました。

結構なお手前で・・・

「第三藍ちゃんの家」では、お抹茶をたてることがあります。利用者さんの中には、以前習っていたという方もいて、お抹茶を出す」と自然にピンと背筋が伸び、キリツとした顔つきになります。「結構なお手前で」と頭を下げる一こまも。



引越しも無事終わり、新しい家での生活にも慣れてきました。「広いなあー」「ええなあー」と評判はまずまずのようです。



「第三藍ちゃんの家」リビングにて